

新たなMICE施設整備に係る基本方針（素案）に対する市民意見募集の結果について

1 募集期間

令和8年2月9日（月）から令和8年3月6日（金）まで

2 募集方法

- (1) 広島市ホームページへの記事掲載
- (2) 窓口での閲覧・配布（観光政策部、公文書館、各区区政調整課）
- (3) 広報紙「ひろしま市民と市政（令和8年2月15日号）」への記事掲載
- (4) 市政記者クラブへの情報提供

3 募集結果

- (1) 応募者の数：8人・団体
- (2) 意見の数：12件
- (3) 意見の内訳

内 容	件 数
ア 基本方針全般に関すること	3件
イ MICE施設等に関すること	6件
ウ 出島地区に関すること	2件
エ その他	1件
計	12件

意見に対する市の考え方

ア 基本方針全般に関すること：3件

意見の要旨	本市の考え方
1 建設費や人件費が高騰する中ではあるが、新たな MICE 施設は広島広域都市圏の 20 年先、30 年先の未来を左右する施設となり得るため、商工センター地区に整備する方針に賛成するとともに、素晴らしい施設が整備されることを期待する。	既存の MICE 施設の規模や機能を拡充したものを、周辺の商業・市場・流通・居住機能との連携や一体性を高めることが可能となる場所に移転更新し、ヒトやモノの動きを支える交通機能の強化などにも取り組むことで、年間を通じて多くの市民や観光客などが地区を訪れ、地区全体の活力や魅力向上につながり、さらには、広島広域都市圏の活性化にも資するまちづくりを目指すこととしており、民間投資等も得ながら、地域と行政が連携して着実にまちづくりを進めていきます。
2 今後、少子高齢化や国際化、情報技術の進展が見込まれる中でのまちづくりについては、バリアフリーでこどもからお年寄りまで活動が容易で、将来的に社会実装されるロボットなども移動しやすく、外国人が訪れてもすばらしいと思えるような、生活しやすく豊かな環境を整えていくことが重要である。	
3 昭和 60 年に策定したプランがここまで進んでいないことに呆れるとともに、ある意味で負の遺産を残さずに済んだとも言えるかもしれないが、少子化や若者の県外流出が止まらず、今後ますます税収の減少が見込まれる中では、既存施設の更新ではなく、既存施設の改修など、他の有効な方法への再考を求める。	<p>商工センター地区については、埋立竣工後 40 年が経過し、施設の老朽化が進むなど、地区のあり方を見直す時期を迎えてきていることを踏まえつつ、少子化が進んだとしても地域の活力を維持していくという「街づくり提案」が地区内の事業者等から提出されました。</p> <p>この提案に沿って、本市と地域が共にまちづくりを進めていくために、学識経験者や地域代表等からなる検討会で策定したまちづくりビジョンの実現に向けた取組を開始することにしました。</p> <p>この取組に当たっては、昭和 60 年当時のプランについて、持続可能な財政基盤の構築に意を用いつつ、事業の選択と集中を一層徹底しながら、着実に進めていくことにしています。</p>

イ MICE施設等に関すること：6件

意見の要旨		本市の考え方
1	MICE施設の規模は、需要調査の結果から、既存の需要や新規の需要を踏まえて約6,000m ² となっているが、これまで広島で開催できなかった新たなイベントが数多く開催できるよう、新規需要の調査結果に比重を置いて反映させるべきではないか。	MICE施設の規模については、既存・拡大・新規・逸失・潜在需要の調査結果に加え、他の都市圏との人口規模による比較や全国平均の平均展示面積の実態などを総合的に勘案し、約6,000m ² としています。 なお、将来的には、需要に応じながら展示室の拡張を検討することとしています。
2	広島駅北口に計画されているアリーナは、1万人規模の収容人員が想定されるが、それではドームツアーを行うようなメジャーグループを招致することができないため、若者の転出超過対策のためにも、商工センター地区には、3～4万人規模のライブが行えるMICE施設（展示場）が必要である。	
3	新たなMICE施設は、一つの空間を間仕切り等で分割できる構造とし、大・小様々なイベントが開催できるようにして欲しい。	MICE施設（展示室等）の機能については、催事参加者や主催者にとって使い勝手がよく多様な催事が開催できるよう、多目的かつフレキシブルな施設にしていく必要があると考えています。 いただいたご意見は、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
4	新たなMICE施設は、隣接する公園と一体的に整備することで相乗効果が期待できるのではないか。	新たなMICE施設の整備に当たっては、都市公園の一部区域の活用が見込まれることなどから、公園としての更なるにぎわいや憩いの場となるよう検討することとしています。 いただいたご意見は、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。

意見の要旨		本市の考え方
5	<p>本市における MICE の開催が、消費の拡大やビジネス機会の創出を通じて、都市の競争力やブランド力の向上につながるという考え方には賛同する。</p> <p>その上で、新たな MICE 施設の整備に当たっては、展示拠点としての機能にとどまらず、市内経済全体への波及を広げる拠点となるような仕組みづくりが重要である。</p>	<p>本基本方針では、各 MICE 拠点の地区特性を踏まえた役割分担に基づく機能強化や相互連携を図り、都心だけでなく都市全体で MICE を開催する広島型「エリア MICE」の実現を加速させることとしており、こうした取組により経済効果が都市全体に広く波及することを期待しているところです。</p> <p>このため、公共交通などによる移動利便性の強化のほか、会議開催時等に、歴史的建造物や食、伝統芸能等の地域資源を活用した特別感を演出できる「ユニークベニュー」の活用による広島広域都市圏内全体のおもてなし力の向上など、MICE 受入態勢の充実にも引き続き取り組んでいくこととしています。</p> <p>いただいたご意見は、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
6	<p>MICE で一番大切なことは、ハードとソフトの融合、すなわち、開催会場である MICE 施設に訪れた方々が、開催都市を広域に巡り、歴史・文化・人・食に触れる体験を通して地域のファンを増やすことである。</p>	<p>このため、公共交通などによる移動利便性の強化のほか、会議開催時等に、歴史的建造物や食、伝統芸能等の地域資源を活用した特別感を演出できる「ユニークベニュー」の活用による広島広域都市圏内全体のおもてなし力の向上など、MICE 受入態勢の充実にも引き続き取り組んでいくこととしています。</p> <p>いただいたご意見は、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>

ウ 出島地区に関すること：2件

意見の要旨		本市の考え方
1	広島市を含む周辺地域では、近隣の地方中核都市と比べて物流拠点となる事業用地が不足しており、出島地区のメッセ・コンベンション等交流施設用地は、陸上輸送拠点としての活用を希望する。	出島地区のメッセ・コンベンション等交流施設用地については、広島港の港湾計画や長期構想を踏まえながら、港湾管理者である県と今後の対応を検討していくことにしています。
2	出島地区のメッセ・コンベンション等交流施設用地は、市内で減少しているゴルフ練習場に活用してはどうか。	いただいたご意見は、今後、活用の検討に当たっての参考とさせていただきます。

エ その他：1件

意見の要旨		本市の考え方
1	商工センター地区内にあるサンプラザや周辺の緑地公園など、既存施設を更新しても回遊性が生まれるとは思えない。	MICE 施設や商業施設、西部周遊緑地、港周辺のにぎわい施設などの整備に当たっては、広島南道路によっていわば南北に切り離されている商工センター地区をペDESTリアンデッキの延長や地区内を運行する循環交通の導入などにより、歩きやすく憩える空間として再整備し、にぎわいを地区全体に広げていくよう取り組むこととしています。